

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 14 日 更新

事務事業名		有機質肥料促進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	6 産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施 策	26 農業の振興				所属課	農政課	担当者名	米岡 美咲
	施策の柱	69 生産基盤の確保と経営力の強化				所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10290	根拠法令	合志市有機質肥料促進事業補助金交付要項	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業生産力の増進と、農業経営の安定を図るため、有機質肥料の流通を促進し、市内農家の地力増進を目的に、市内で生産された有機質肥料を購入した市内農家等を対象に購入に要した経費の3分の2以内(限度額15万円/戸)を補助するもの。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付 → ②交付決定通知 → ③補助金交付
【主な予算費目】	役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市内で生産された有機質肥料を使用する農家が定着してきたため、補助金の継続について検討を行う時期がきている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 合志市有機質肥料促進事業補助金交付要綱に基づき、家畜糞尿で生産された有機質肥料の流通促進を図るため、申請者に補助金を交付した。(67件)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 同規模の活用及び補助金の交付を予定する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請した農家戸数	戸	
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市在住の農家	戸	→ ア: 農家戸数
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
農業生産力の増進と農業経営の安定を図る。	%	→ ア: 軽減できた農家の割合(申請件数÷農家戸数)×100%
	%	→ イ: 軽減率(補助額÷堆肥購入額)×100%
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
堆肥購入経費の負担を軽減することから成果指標を「軽減できた農家の割合(申請件数÷農家戸数)」「軽減率(補助額÷堆肥購入額)」とした。目標値については、過去3年間の実績を踏まえ軽減できた農家の割合を17%、軽減率を52%とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		ア 戸	84	73	100	67	100	100	100	100	
② 対象指標		ア 戸	505	505	505	505	505	505	505	505	
③ 成果指標		ア %	16.6	14.45	17	13.26	17	17	17	17	
		イ %	60.7	62.72	52	62.63	52	52	52	52	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	3,000		1,000					
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,920	4,090	5,009	2,747	5,009	5,009	5,009	5,009
	(A) 事業費計	千円	4,920	4,090	5,009	3,747	5,009	5,009	5,009	5,009	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	2	1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,620	820	820	200	820	820	820	820
		(B)人件費計	千円	10,244	3,120	3,266	728	3,266	3,266	3,266	3,266
トータルコスト(A)+(B)		千円	15,164	7,210	8,275	4,475	8,275	8,275	8,275	8,275	

事務事業名	有機質肥料促進事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 有機質肥料を求める需要は高く、目標を達成した。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 堆肥購入補助金の周知徹底や実績値を考慮し設定しており、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 広報・HP・各種会議等の中で効果的な広報を図るなど、適正な事業推進を行うことで成果向上が望める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 有機堆肥を使用する農家が増え、申請農家が増えると逆に事業費が増えることもある
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 一括申請でおこなっており、これ以上の業務時間の削減は困難である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 有機質肥料を使用する農家が定着してきており、受益機会の公平性に見直しの余地がある。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 有機質肥料を生産する側と使用する農家を結びつける必要があり、行政の役割は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

広報・HP・各種会議等の中で広く広報していく中、軽減できた農家の割合も増加している傾向にある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							